

2024年 9月 1日 《 誕 生 祝 福 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

②石井 潤 師

賛 美

聖歌522番「地のちりにひとしかり」
～主と～

詩篇23篇

聖書朗読

使徒行伝16章25～34節

特別賛美

宮田四郎兄（ホルン）

メッセージ

「閉ざされる道と開かれる道」

石井 潤 牧師

献 金

聖歌430番「けがれとはじとの」

賛 美

～主は道を造られる～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～平和初めて知った～

☆礼拝にお越しくくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝の恵みを感謝します！午後は聖書の学び会（I ペテロ1章/洋子姉）。

★今週の祈り会：①明朝6時。②木曜：午前10時半/夜7時半～。③土曜夜8時。

☆来週の日曜礼拝では聖餐式(司:石井兄/祈:松岡姉)。聖歌隊練習。午後は執事会。

=== 〈今後の予定〉 ===

☆9/16(月)10時半「チャペルコンサート」ボーマン師夫妻

★9/22(日)10時20分「敬老祝福礼拝」森脇弘隆兄

☆10/14(月)午後2時「音楽と講演の集い」大川従道牧師夫妻(聖歌隊)

☆★一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [9/1-8]☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	使徒	27	箴言	5	10	15	20	24
	24-26	-28	1-4	-9	-14	-19	-23	-27
チェック	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇 〇〇	〇〇〇〇 〇	〇〇〇 〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

「閉ざされる道と開かれる道」

～主が道を造られる～

「あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされる場所だからである。」ピリピ2章13節

「すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。」箴言3章6節

「また、あなたが右に行き、あるいは左に行く時、そのうしろで『これは道だ、これに歩め』と言う言葉を耳に聞く。」イザヤ30章21節

「ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセがあなたに命じた律法をことごとく守って行き、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべてあなたが行くところで、勝利を得るためである。」ヨシュア1章7節

パウロたちは再び、宣教旅行に出かけました。すると、二度も、その行く手を阻むものがありました。今回はユダヤ人たちの迫害ではなく、神様ご自身がその道を閉ざしました。そして、その次には、一つの幻を見せられました。それは、マケドニア(現在のギリシャ)に来て欲しいという幻でした。その時から、使徒行伝を書いたルカが「わたしたち」という表現の中で自ら登場するようになりました。福音(良い知らせ・神様の救いのメッセージ)を伝えるのに、どうして、神様ご自身がそれをとどめたのか?しかし、パウロにもそのことが分かっていました。神様が導かれる道があるということ。どんなに良い事であったとしても、手段や方法も神様が導かれることがあります。そして、そこに神様の目的がある場合があります。ですから、私たちが100%正しいと思えるやり方であったとしても、それがとどめられることもあるということです。ですから、私たちの心は常にニュートラルになっていないといけない訳です。主がハンドルを握っておられるので、その導かれる道へと私たちは従っていくのです。

中国の婦人伝道者であるナオミ姉は、伝道者としての使命を持った兄弟と結婚しましたが、フルタイムの伝道者になる準備もしていた矢先、結婚生活を始めて三カ月も経たないうちにご主人が癌になり、娘さんが生まれて二歳の時にご主人は天に召されてしまいました。葬儀も終って全てを処理した後、ナオミ姉は主にお仕えすることをやめてしまいました。娘さんを連れて故郷を離れて、都会に出て、銀行員として働きました。主が自分自身を必要としないのだと思ってしまったからです。

それからの一年間は信仰こそ捨てませんでした。祈ることも聖書を読むこともできませんでした。死に物狂いで働き、幼稚園に一番早く娘さんを預け、一番遅く迎えに行く。週末も出勤して、懸命に働き、上司からも褒められ、昇進も決まっていた。しかし、主の声がずっと内側で聞こえていました。そして、ある時に主が語られました。「あなたはこの世の花嫁衣裳を着ています。わたしのために着なさい。」と。そして、主に三つの条件を出して、「あなたがすべての責任を取ってください!」とお願いしました。そして、主は2週間でその三つの条件を満たしてくださった。そして、銀行員を辞めて、再び主にお仕えする道を歩む決断をされました。